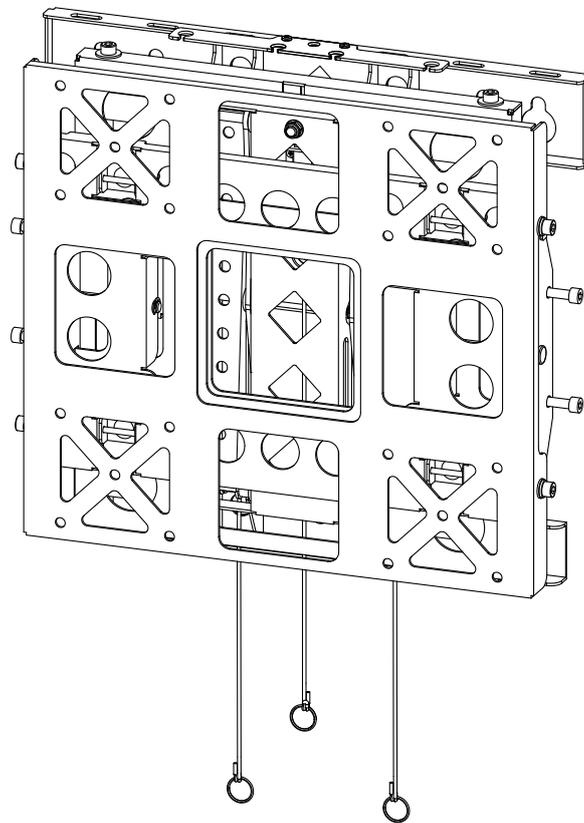


取扱説明書

マルチディスプレイ用壁掛金具2

型番

FTK-MWM-400



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
- 特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

目次

■ 安全上のご注意	1 - 2
■ 製品概要	3
■ 梱包内容	3
■ 「ディスプレイブラケット」を取り外す	4
■ ディスプレイに「ディスプレイブラケット」を取り付ける	4
■ 「壁面側金具」を壁面に設置する	5 - 6
■ 「ロープ」を下段の「壁面側金具」に通す（金具を上下に設置する場合）	7
■ 「調節機構ユニット」にディスプレイを取り付ける	8
■ ディスプレイを引き込む / 引き出す	9
■ ディスプレイの位置を調節する	10 - 12
■ ディスプレイの位置を固定する	13
■ 左右振れ/ロック固定の調節をする	13
■ 保証書	14

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。

 警告 この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。
--	---

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。	 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。	 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
 この絵表示は、指に気をつけていただきたい「注意」内容です。	

警告

-  本製品は、耐荷重を定めております。耐荷重を超えた質量のディスプレイを取り付けると、本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。
-  ディスプレイの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損・けがの原因となります。

-  ディスプレイを引き出した状態で無理な力を加えないでください。破損や事故の原因となります。
-  ディスプレイを引き出した状態で放置しないでください。製品の脱落及び変形など破損や事故の原因となります。

警告

-  壊れた部品を使用しないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。万一、部品が壊れた場合には販売店にご相談ください。
-  揺れや振動の多い場所の壁面へは取り付けしないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。
-  20kg以上のディスプレイを取り付け、取り外しする場合は、必ず2人～4人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業はディスプレイの落下による破損やけがの原因となります。
-  本製品の改造・変更は行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。
-  使用中にジョイント部やネジのゆるみ、がたつきが生じた場合は必ず締め直し、直らない場合は使用を中止してください。ゆるみやがたつきがあるまま使用すると本製品やディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。

注意

-  本製品の設置には特別な技術が必要ですので、販売店や工事店にご相談ください。お客様による工事は一切行わないでください。本製品やディスプレイの落下などによる破損やけがの原因となります。
-  ディ스플레이の設置条件（安全性、吸気・排気など）などについては、ディスプレイメーカーの取扱説明書をご確認の上、指示に従ってください。
-  安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。
-  ディ스플레이を引き込む（引き出す）際は、ロープをゆっくり引いて横揺れが起きないようにしてください。上下や左右のディスプレイ同士がして衝突して破損する恐れがあります。
-  調節機構ユニットを動かす際、指を挟まないように気をつけてください。けがの原因となります。
-  ディ스플레이を引き込む際は、ケーブルの金具への挟み込みに注意して無理に引き込まないでください。ケーブルが断線する原因となります。
-  取り付ける壁面には十分な強度があることを確認してください。取り付けるディスプレイ、本製品の重量に長時間耐えることを確認してください。
-  壁面埋め込み設置の際は、ディスプレイの仕様をディスプレイメーカーの取扱説明書などをご確認の上、必ず放熱を考慮した設置を行ってください。
-  ケーブル配線の際は、接続に必要な余長を持たせた状態で配線を行ってください。ケーブルの断線、ディスプレイの破損などの原因となります。

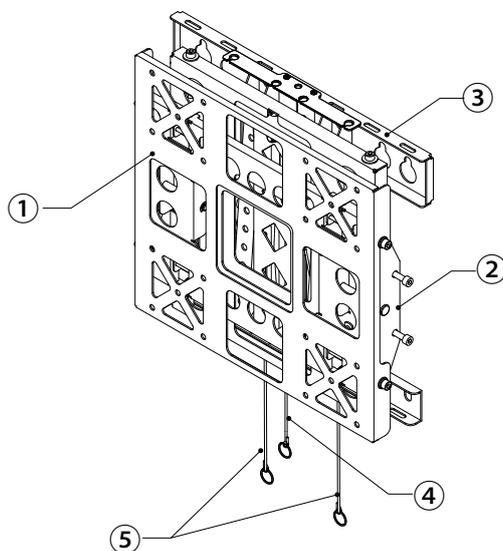
本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、まことに恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社

電話：03-3636-0011(代表) ホームページ：<https://www.forvice.co.jp> メール：marketing@forvice.co.jp

製品概要

マルチディスプレイ用壁掛金具2



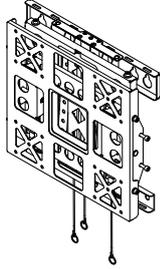
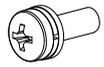
No.	各部名称
①	ディスプレイブラケット
②	調節機構ユニット
③	壁面側金具
④	解除用ワイヤー
⑤	引き込み用ワイヤー

型番	FTK-MWM-SH400
質量	約17.0kg
耐荷重	50kg

※オプション品の取り付けや使用方法については、各オプションの取扱説明書を参照してください。

梱包内容

部品、付属品

 <p>マルチディスプレイ用壁掛金具 …1台</p>	 <p>ナベセムス P=3 (M6×14/18/25/35 M8×20/25/30) …各4本</p>	 <p>スペーサー (M6用) …8個</p>	 <p>ガイド用ブッシュ …4個</p>	 <p>取扱説明書 …1部</p>
---	--	--	---	--

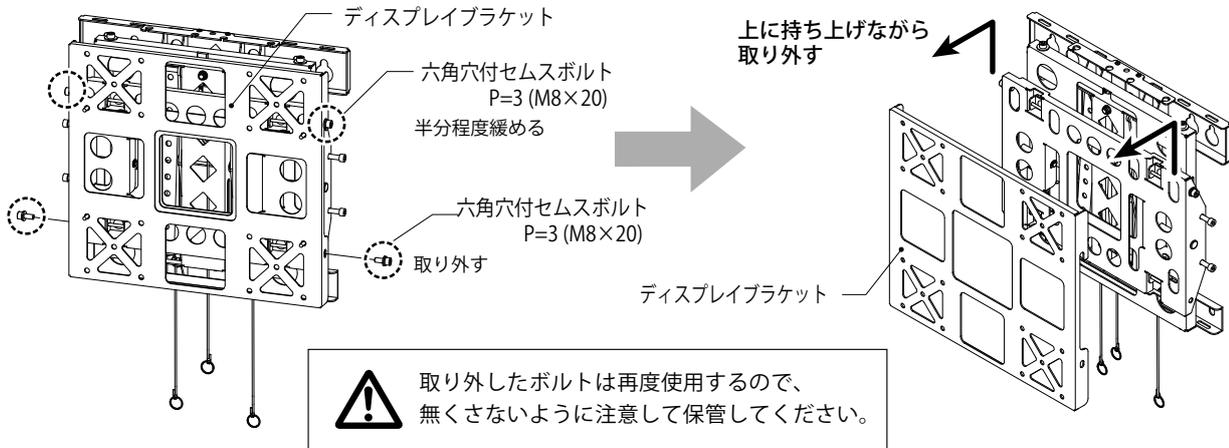
※工具は付属しておりませんので、お客様や設置作業をされる方でのご用意となります。

「ディスプレイブラケット」を取り外す

- 「ディスプレイブラケット」両側面に取り付けられている「六角穴付きセムスボルト P=3 (M8×20) のうち下部2箇所は取り外し、上部2箇所は半分程度緩めてください。
- 「ディスプレイブラケット」を上を持ち上げながら取り外してください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)



ディスプレイに「ディスプレイブラケット」を取り付ける

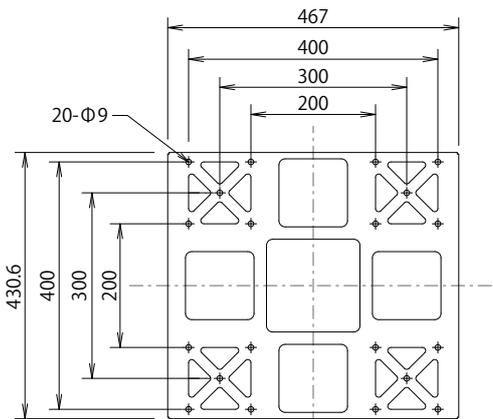
- ディスプレイをきれいな柔らかい布などの上に置き、画面を保護してください。
- ディスプレイに「ディスプレイブラケット」を付属の「ナビセムス P=3」や「スペーサー」を使用してしっかりと固定してください。(詳細は下図を参照してください。)必ずディスプレイの取付穴深さにあったネジを選定してください。取付穴深さはディスプレイ取扱説明書または、メーカーホームページでご確認ください。

使用する工具

プラスドライバー

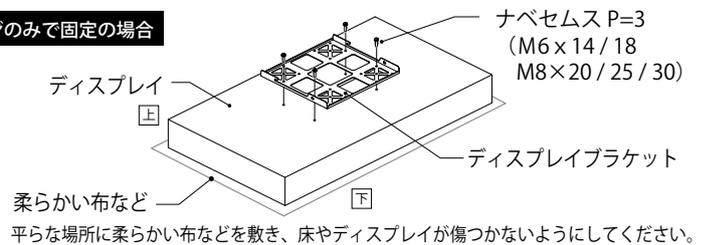
取付穴位置

本製品はVESA規格
200×200 / 300×300 / 400×400 / 400×200 (mm) に対応

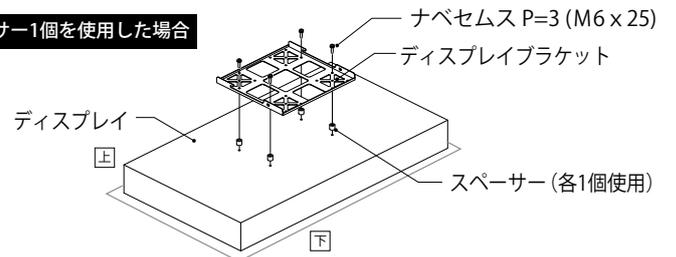


ディスプレイブラケット正面図

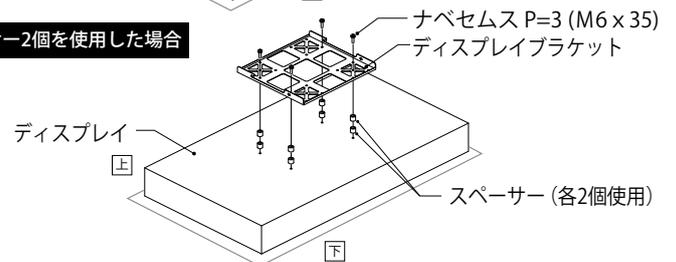
ネジのみで固定の場合



スペーサー1個を使用した場合



スペーサー2個を使用した場合



ネジは確実に締め付けてください。
ディスプレイの落下による破損やけがの原因となります。

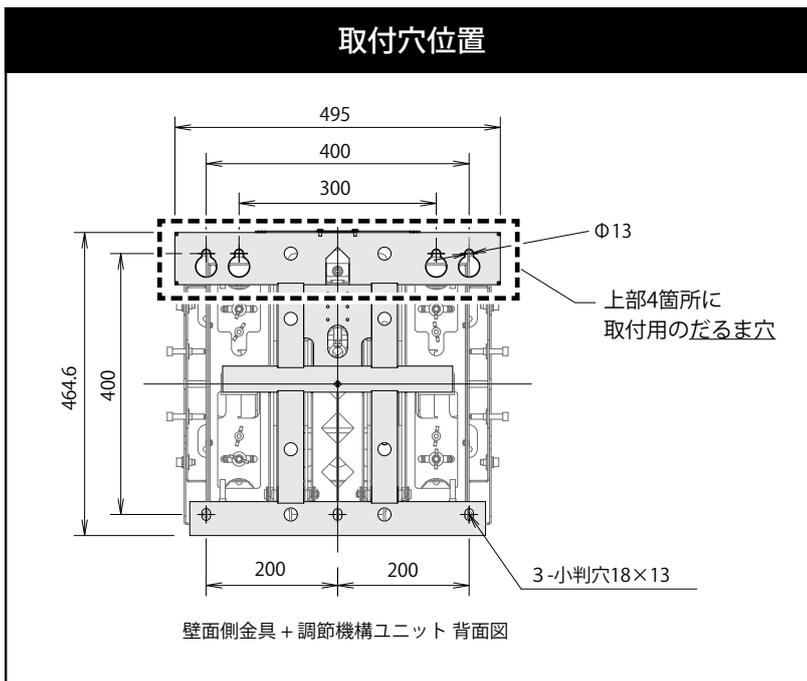


ディスプレイブラケット取り付けの際にディスプレイを寝かせる時は、凹凸のない平らな面に柔らかい布やシートを敷いて、できるだけ短時間で行ってください画面に異常を来す原因となります。

「壁面側金具」を壁面に設置する

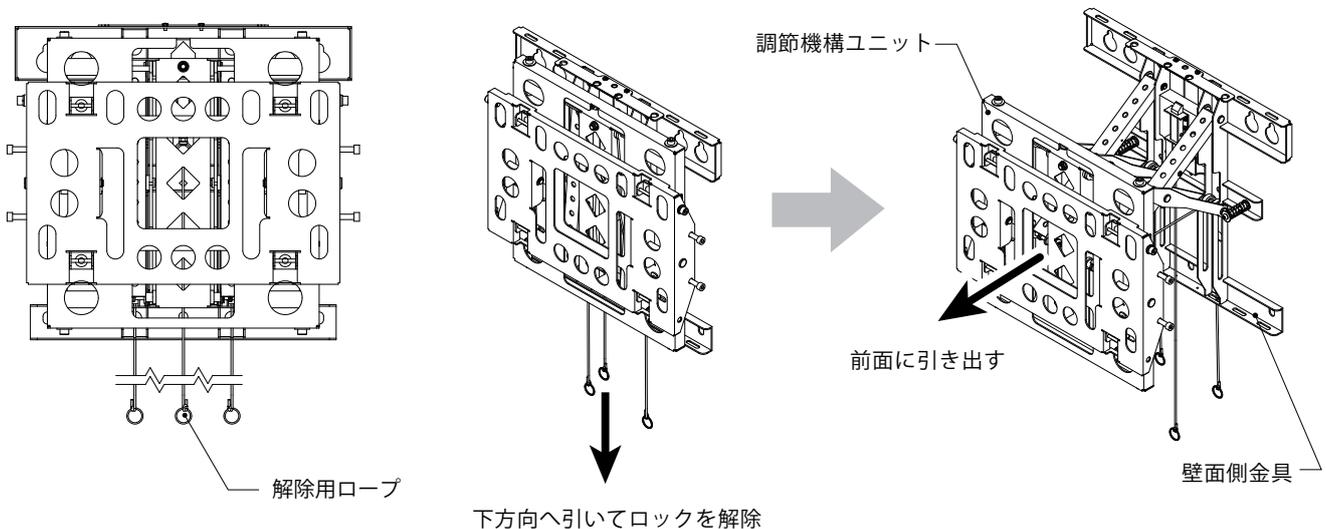
- 壁面に「壁面側金具」の取付位置を墨出ししてください。
- 壁面の構造に合わせた固定方法、ボルト・ワッシャーの選定してください。
ボルトは3.でだるま穴を引っ掛けるために仮締めで少し軸を残してください。
※壁面の強度を必ず確認してください。ディスプレイ重量 + 金具重量を合わせて荷重に耐えうる取り付け場所であることを確認して、強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。
- 「壁面側金具」上部4箇所を開いているだるま穴を使用して、壁面に取り付けられたボルトなどに引っ掛けて取り付けてください。
※取り付ける際は、水平であることを確認してください。

使用する工具
プラスドライバー



! ボルトは確実に締め付けてください。
ディスプレイの落下による破損やけがの原因となります。

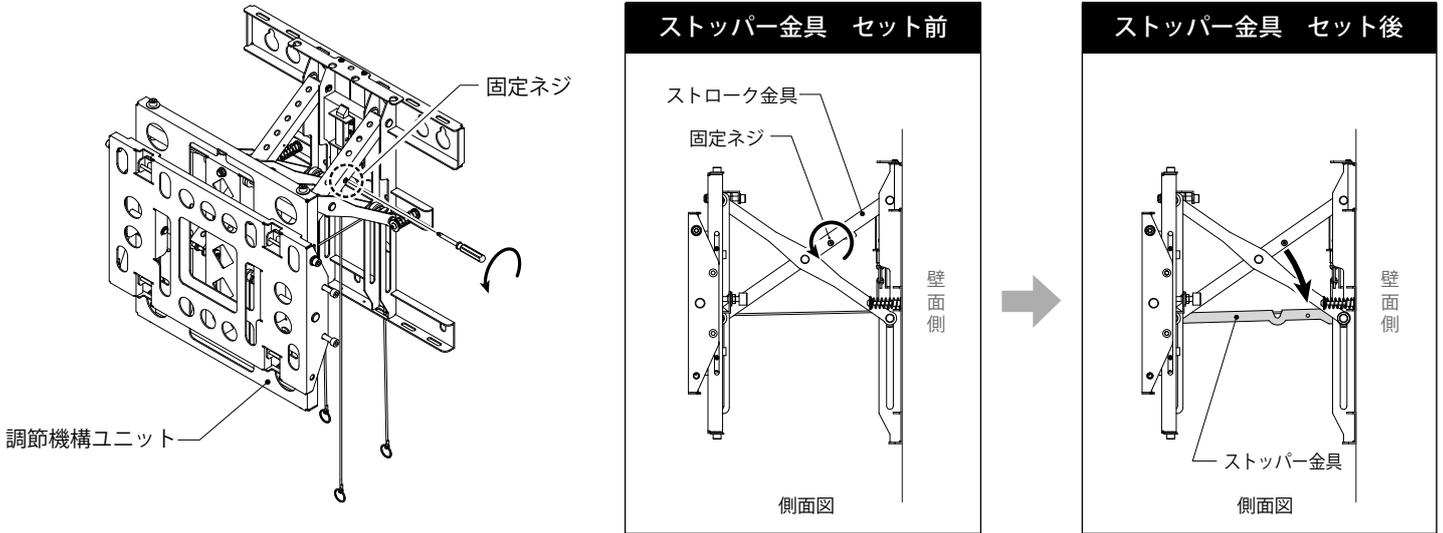
- 「壁面側金具」の下部から出ている「解除用ロープ（中央1本）」を下方向へ引いてロックを解除して、「調節機構ユニット」を前面に引き出してください。



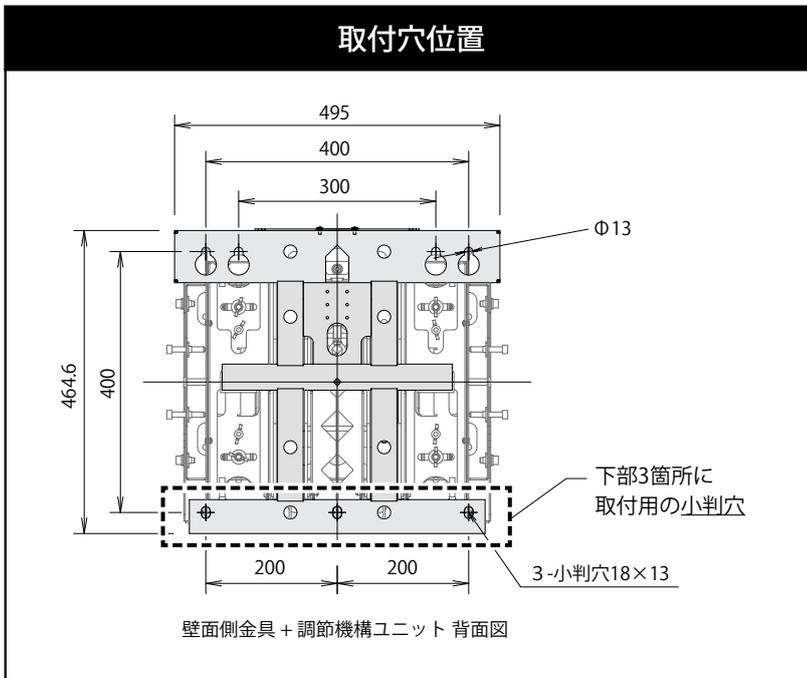
「壁面側金具」を壁面に設置する

つづき

4. 下図の「固定ネジ」を緩めて、「ストローク金具」内側に収納されている「ストッパー金具」を下してください。
5. 下した「ストッパー金具」を下方向に押さえて、受ける金具にセットしてください。
 ※「ストッパー金具」がしっかりと引っ掛かっていることを必ず確認してください。
 ※「固定ネジ」は「ストッパー金具」が下りたら、それ以上回さないでください。
 回し過ぎると「固定ネジ」が落下します。



6. 「壁面側金具」下部の小判穴3箇所を選定したボルトやネジを使用して仮締めして、最後に2.で上部4箇所に取り付けた「ボルト」と共に本締めしてしっかりと固定してください。



ボルトは確実に締め付けてください。ディスプレイの落下による破損やけがの原因となります。



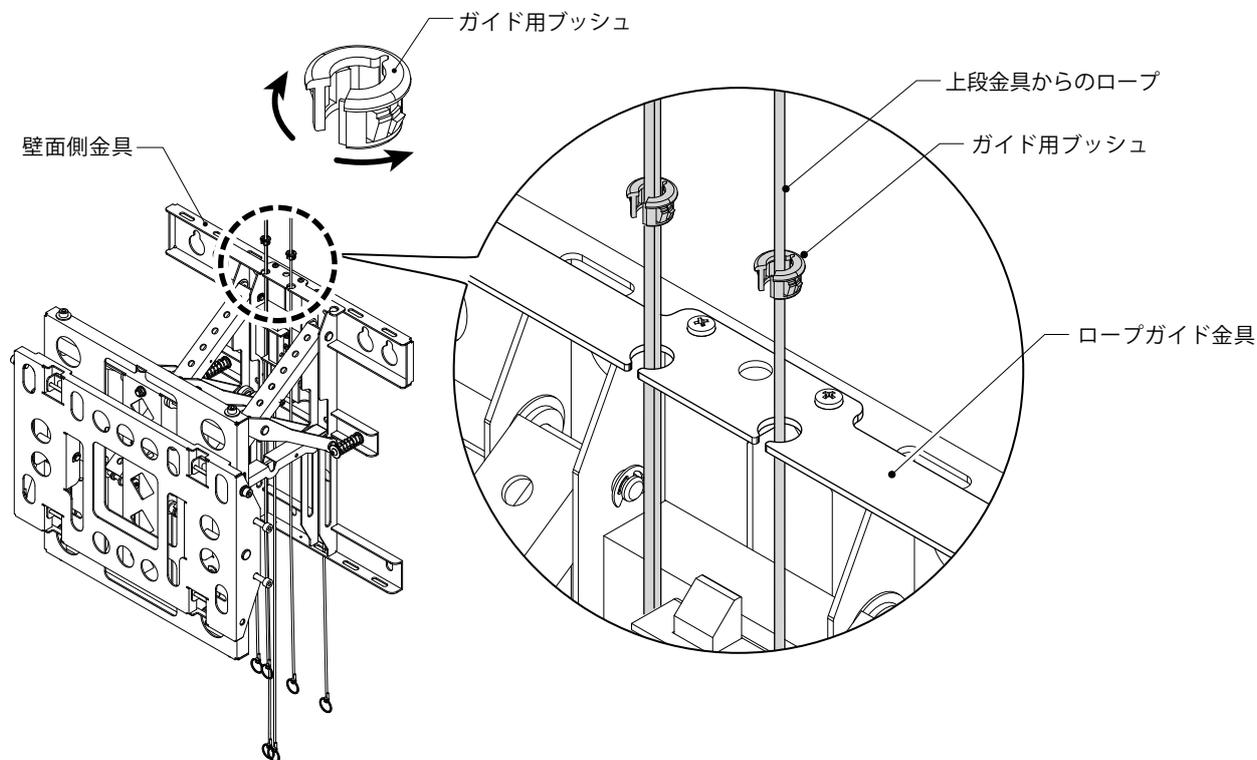
調整機構ユニットを動かす際、指を挟まないように気をつけてください。けがの原因となります。

「ロープ」を下段の「壁面側金具」に通す（金具を上下に設置する場合）

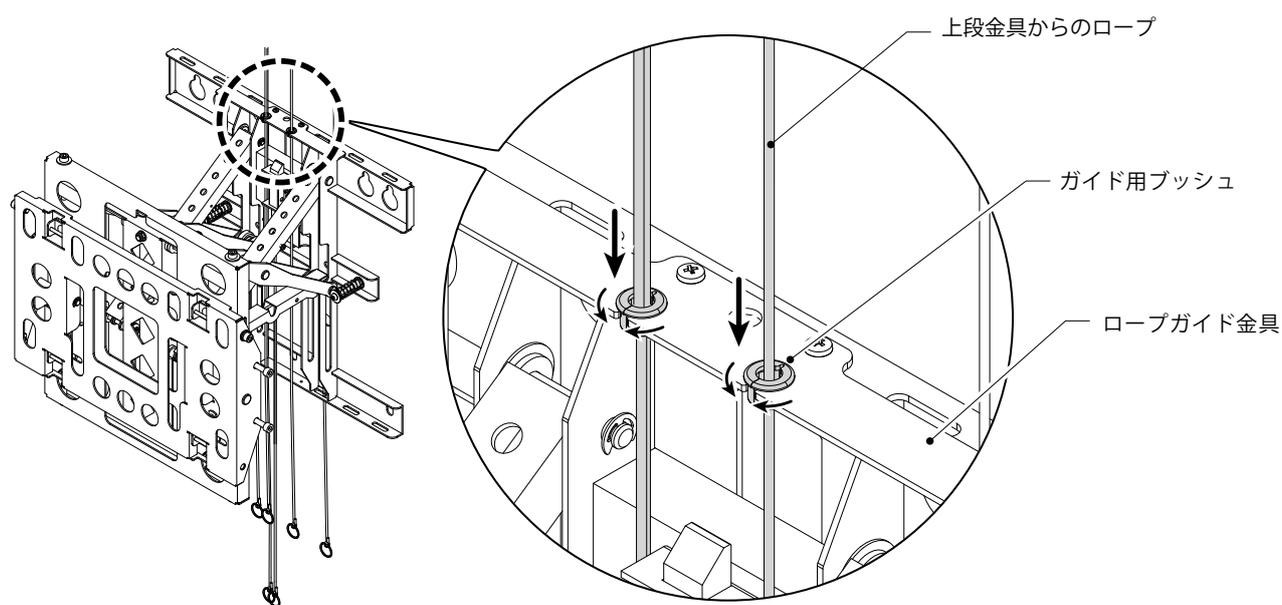
本製品を上下に設置する際、「引き込み用ロープ」と「解除用ロープ」を下段の「壁面側金具」に通してください。

※作業の際は、「ストッパー金具」を必ずセットしてから行ってください。（6ページを参照）

1. 「壁面側金具」上部に取り付けてある「ロープガイド金具」の穴に上段の金具から出ている「ロープ」を通した後、下図のように付属の「ガイド用ブッシュ」の開口部を開いて「ロープ」に通してください。



2. 「ガイド用ブッシュ」の開口部を閉じながら「ロープガイド金具」の穴に差し込んでください。



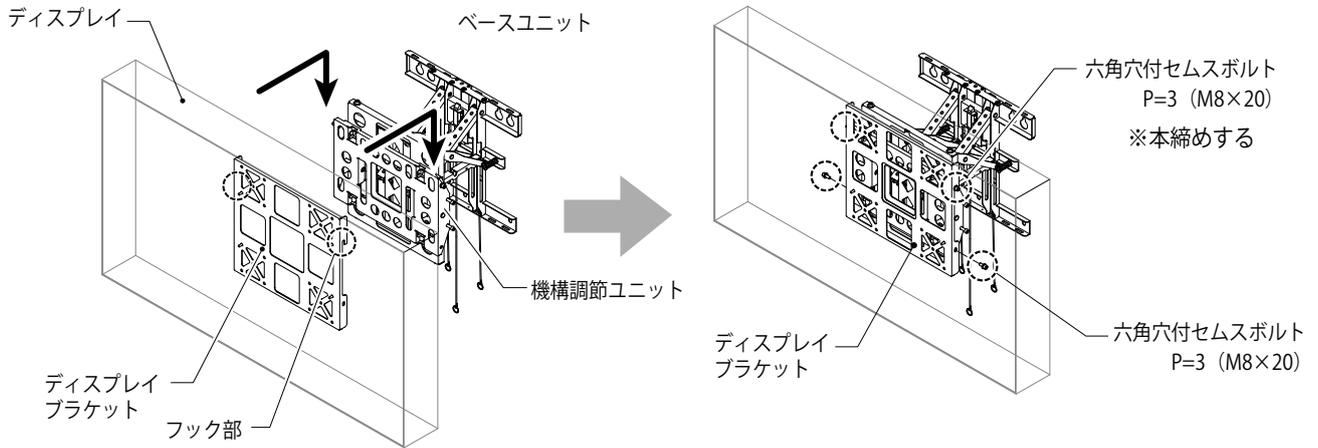
「調節機構ユニット」にディスプレイを取り付ける

2. 「ディスプレイブラケット」の左右フック部を「調節機構ユニット」に仮締めしてある「六角穴付セムスボルトP=3 (M8×20)」に引っ掛けてください。
フック部を引っ掛けた後は「ディスプレイブラケット」下部に、最初に取り外した「六角穴付セムスボルトP=3 (M8×20)」(4ページ参照)を再度取り付け、仮締めしてある上部の「六角穴付セムスボルトP=3 (M8×20)」と共に本締めしてください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)

プラスドライバー



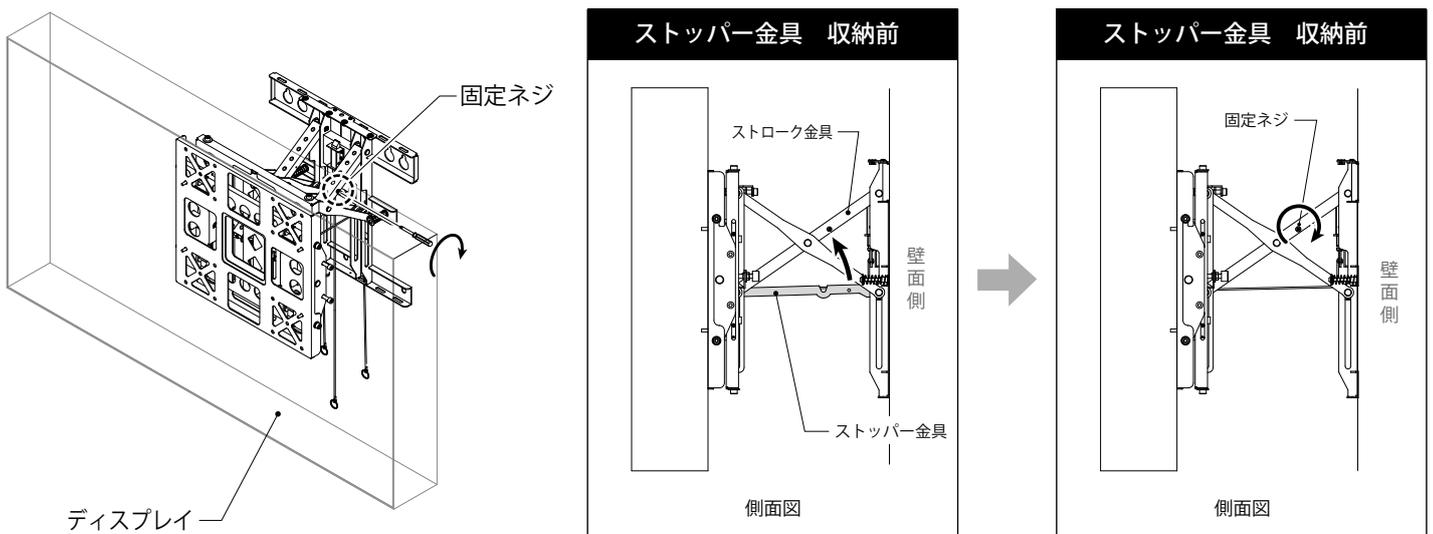
20kg以上のディスプレイを取り付け、取り外しする場合は、必ず2人～4人以上で作業を行ってください。指示人数未満での作業はディスプレイの落下による破損やけがの原因となります。



ボルトは確実に締め付けてください。ディスプレイの落下による破損やけがの原因となります。

3. 「ストッパー金具」を上方向へ持ち上げて収納した後、「ストローク金具」に取り付けてある「固定ネジ」を締め込んでください。

※固定ネジは必ず最後まで締め込んでください。



ストッパー金具や調節機構ユニットを動かす際、指を挟まないように気をつけてください。けがの原因となります。



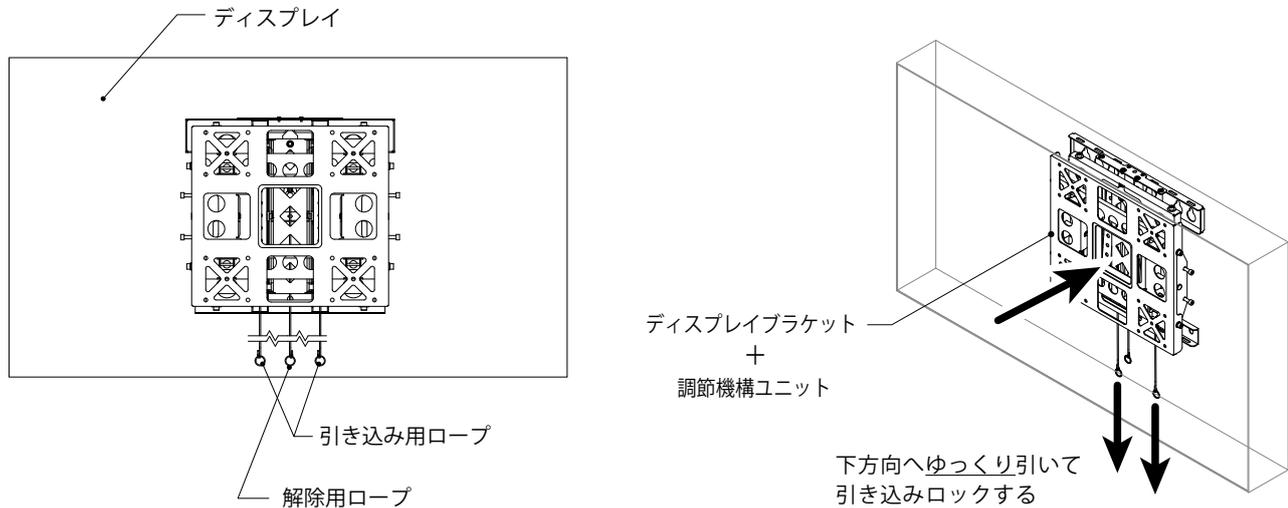
ボルトは確実に締め付けてください。ディスプレイの落下による破損やけがの原因となります。

ディスプレイを引き込む / 引き出す

「引き込み用ロープ」を金具が横揺れしないようにゆっくりと下方向に引き、「ディスプレイブラケット」と「調節機構ユニット」がロック部にしっかりと固定される位置まで戻して引き込んでください。

※引き込み時にロック固定ができない場合は、13ページを参照して調節してください。

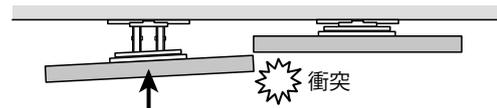
※引き出す際は、「解除用ロープ」をゆっくりと下方向に引いてください。詳細は5ページを参照してください。



ディスプレイを引き込む際は、ケーブルの金具への挟み込みに注意して無理に引き込まないでください。ケーブルが断線する原因となります。



ディスプレイを引き込む（引き出す）際は、ロープをゆっくり引いて横揺れが起きないようにしてください。上下や左右のディスプレイ同士が衝突して破損する恐れがあります。



ディスプレイを強く引き込み過ぎると・・・

ディスプレイの位置を調節する

ディスプレイ同士が当たってしまう場合や傾いている場合は位置の調節を行ってください。

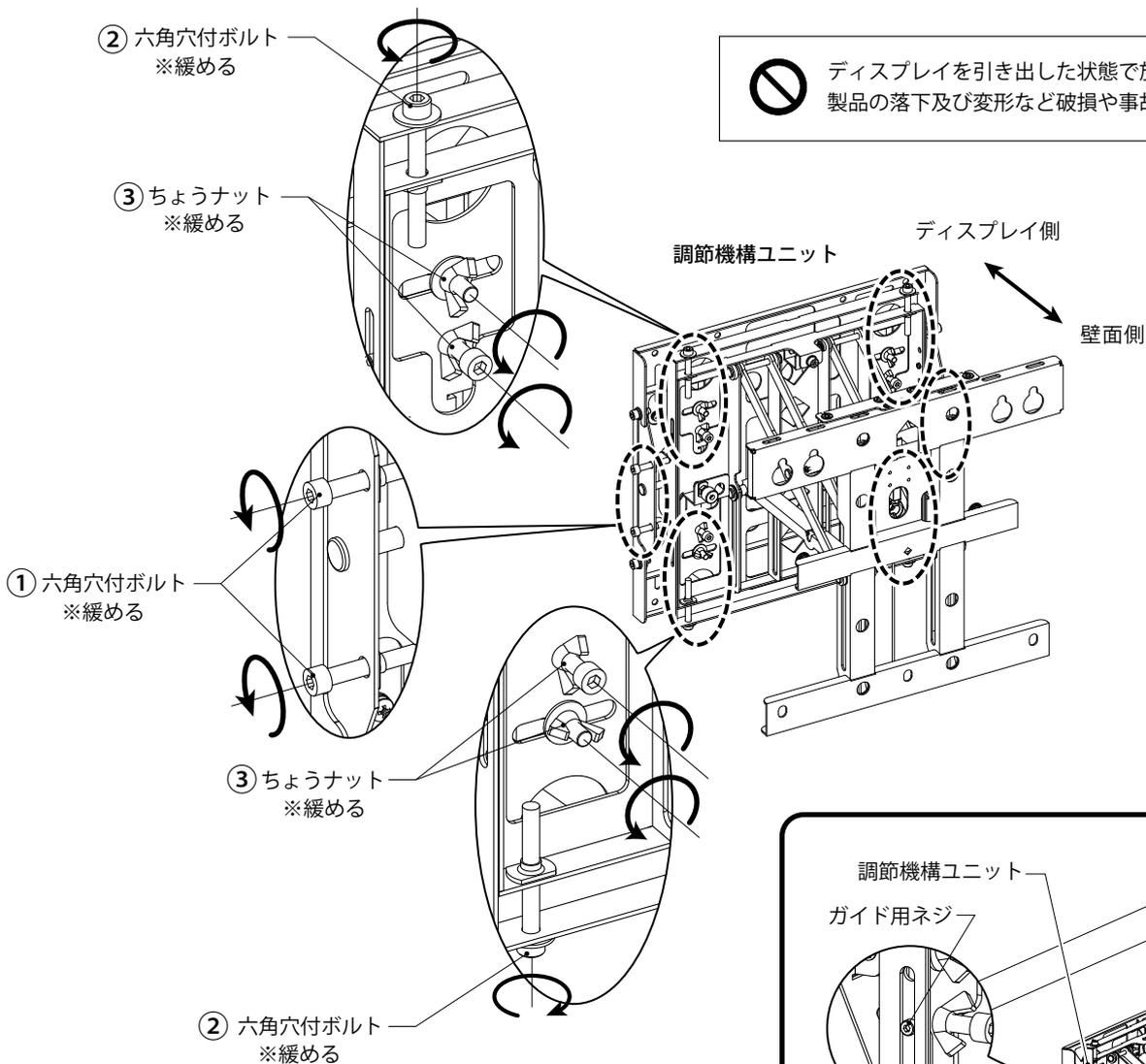
まず、調節作業を始める前に下記の「ボルト/ちょうナット」を必ず緩めてください。

「ボルト/ちょうナット」を緩めないで無理に調節を行うと金具が変形する原因となります。

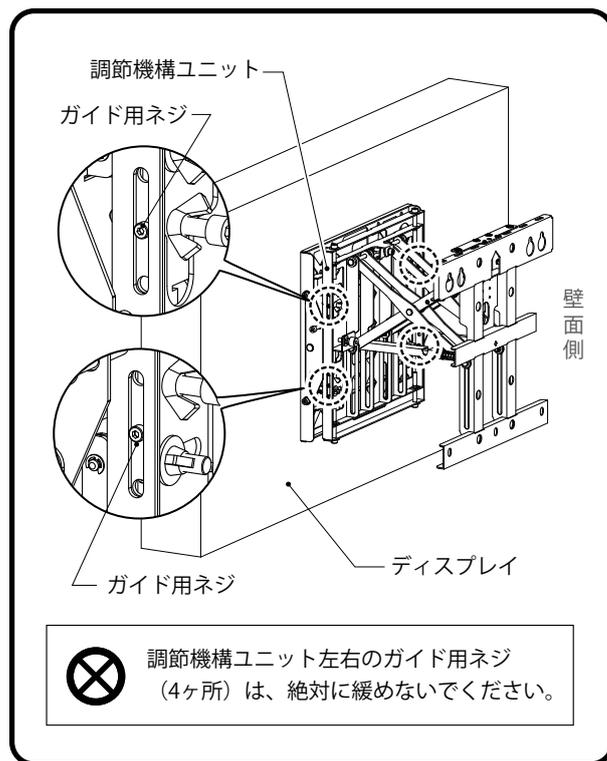
使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)

- ① 【調節機構ユニット左右の六角穴付ボルト (4箇所)】
- ② 【調節機構ユニット上下の六角穴付ボルト (4箇所)】
- ③ 【調節機構ユニット背面のちょうナット (8箇所)】



ディスプレイを引き出した状態で放置しないでください。
製品の落下及び変形など破損や事故の原因となります。



調節機構ユニット左右のガイド用ネジ (4ヶ所) は、絶対に緩めないでください。

ディスプレイの位置を調節する

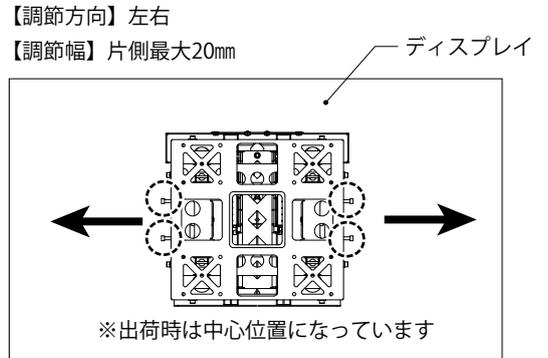
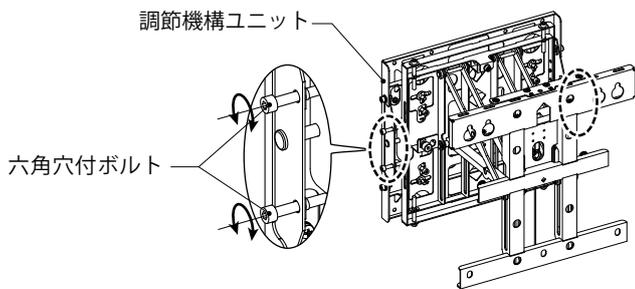
つづき

左右方向の調節

使用する工具
六角レンチ (対辺 6mm)

「調節機構ユニット」左右4箇所の「六角穴付ボルト」で左右方向の調節を行うことができます。調節の際は、必ず締める「ボルト」と垂直方向に対称の「ボルト」を緩めてから行ってください。

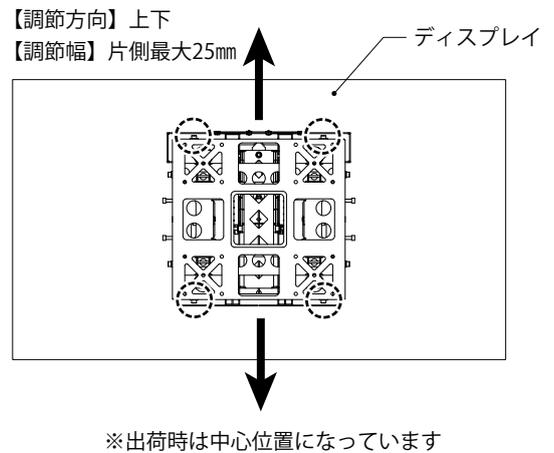
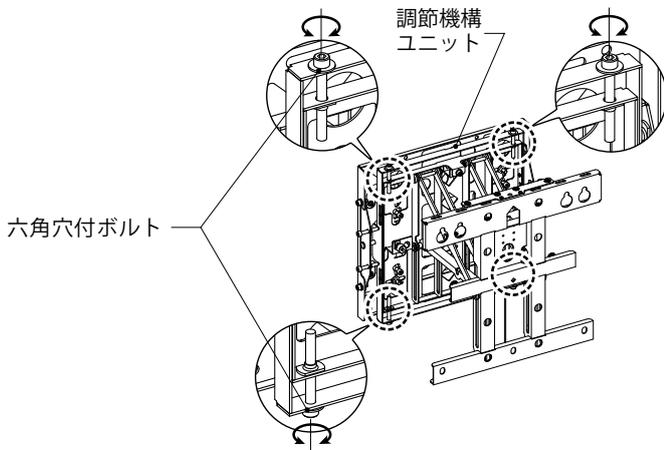
右側面のボルトを締める (左側面のボルトを緩める)	左方向 (最大20mm)
左側面のボルトを締める (右側面のボルトを緩める)	右方向 (最大20mm)



上下方向の調節

「調節機構ユニット」上下4箇所の「六角穴付ボルト」で上下方向の調節を行うことができます。調節の際は、必ず締める「ボルト」と垂直方向に対称の「ボルト」を緩めてから行ってください。

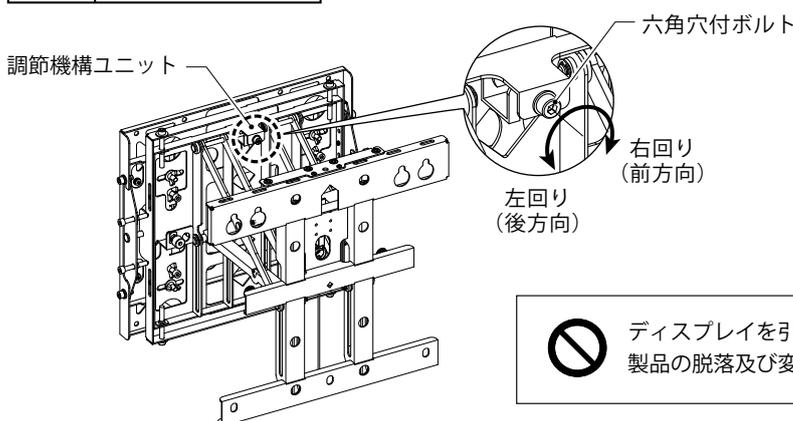
下のボルトを締める (上のボルトを緩める)	上方向 (最大25mm)
上のボルトを締める (下のボルトを緩める)	下方向 (最大25mm)



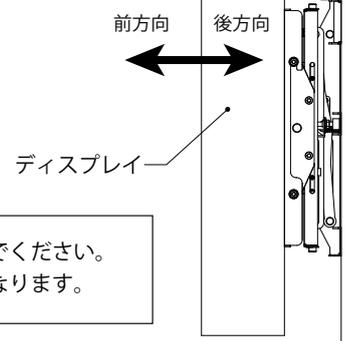
前後方向の調節

「調節機構ユニット」背面側上部の「六角穴付ボルト」で前後方向の調節を行うことができます。

右回り	前方向 (最大10mm)	※出荷時は後方向 (最薄状態) 位置となります。
左回り	後方向 (最大0mm)	



【調節方向】前後
【調節幅】前方向10mm



⊘ ディスプレイを引き出した状態で放置しないでください。製品の脱落及び変形など破損や事故の原因となります。

ディスプレイの位置を調節する

つづき

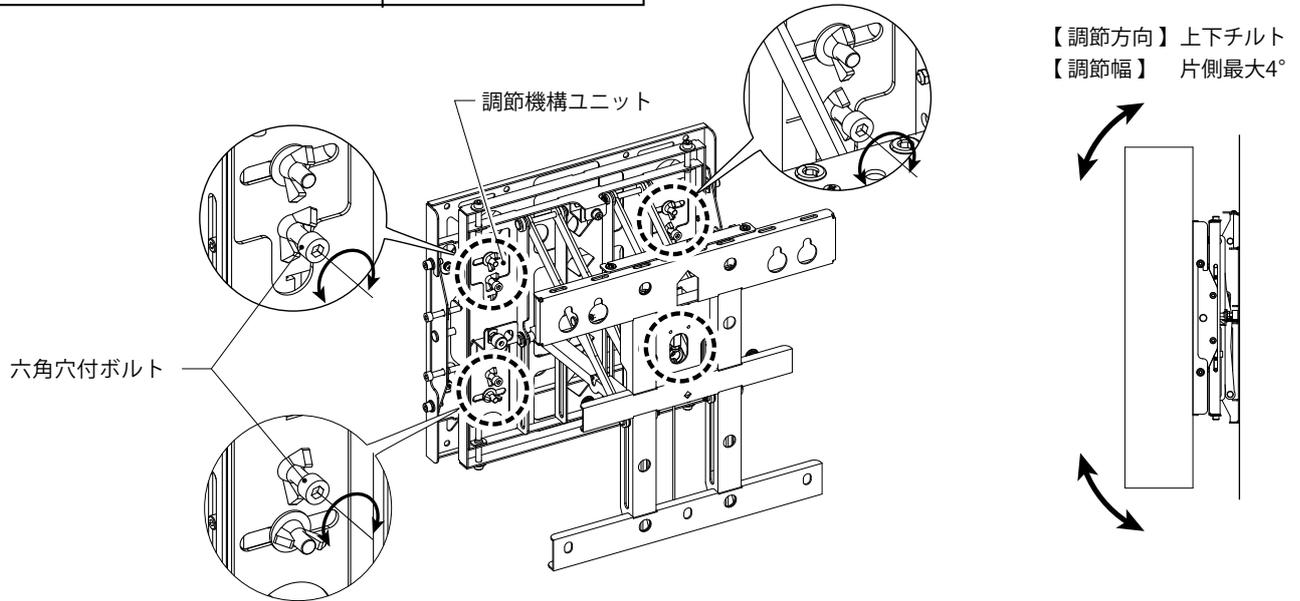
チルト方向の調節

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)

「調節機構ユニット」背面4箇所「六角穴付きボルト」でチルト方向の調節を行うことができます。調節の際は、必ず締める「ボルト」と水平方向に对称の「ボルト」を緩めてから行ってください。

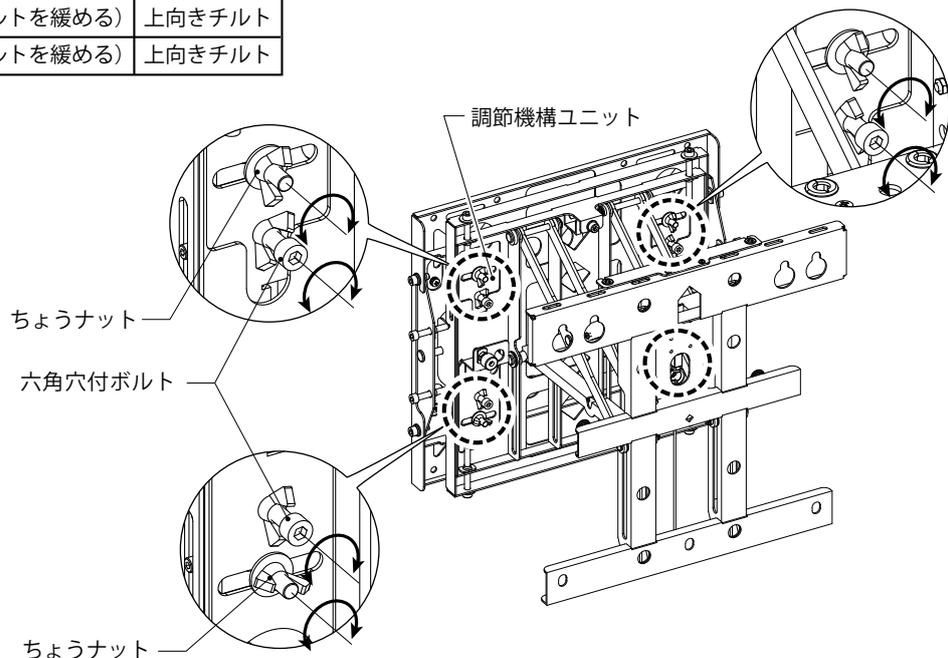
上部のボルトを締める (下部のボルトを緩める)	下向きチルト (最大4°)
下部のボルトを締める (上部のボルトを緩める)	上向きチルト (最大4°)



チルト方向の微調節

「調節機構ユニット」の背面4箇所「ちょうナット」でチルト方向の微調節 (背面への引き込み)を行うことができます。調節の際は、必ず締める「ちょうナット」の上または、下にある「六角穴付きボルト」を緩めてから行ってください。

上部のボルトを締める (下部のボルトを緩める)	上向きチルト
下部のボルトを締める (上部のボルトを緩める)	上向きチルト



ディスプレイを引き出した状態で放置しないでください。製品の脱落及び変形など破損や事故の原因となります。



複数のディスプレイを設置した際、目地の微調節のために、ナットを締めすぎると壁掛金具が変形する場合がありますのでご注意ください。

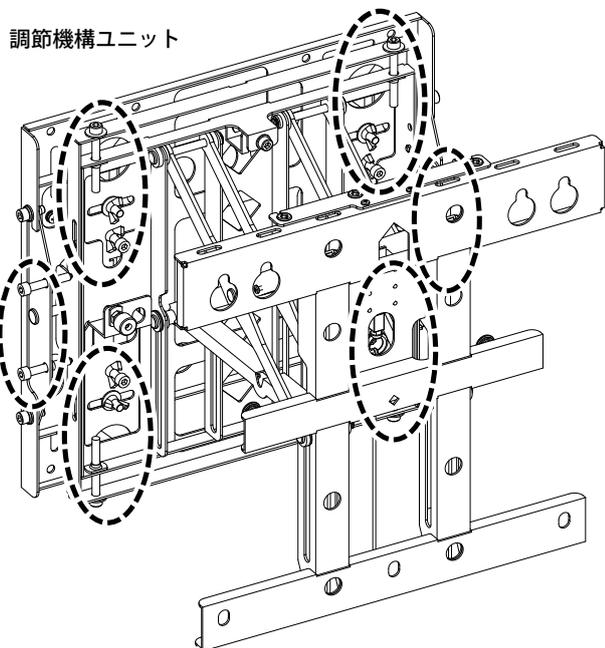
ディスプレイの位置を固定する

ディスプレイの位置を調節した後、調整をしていない「ボルト/ちょうナット」を適度に固定し直してください。締め過ぎるとディスプレイの位置が変わりますのでご注意ください。

※ディスプレイの位置を調節する際、指定の「ボルト/ちょうナット」を緩めてから行います。詳細は10ページを参照してください。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)



ディスプレイを引き出した状態で放置しないでください。製品の落下及び変形など破損や事故の原因となります。



背面のちょうナットを締めすぎるとディスプレイのチルト方向の位置が変わりますのでご注意ください。

左右振れ / ロック固定の調節をする

「調節機構ユニット」背面側左右2箇所の「振れ防止調節ボルト」で金具の左右の振れ度合や収納時のロック固定を調整することができます。

調節する際は、必ず「六角ナット」を緩めて行ってください。

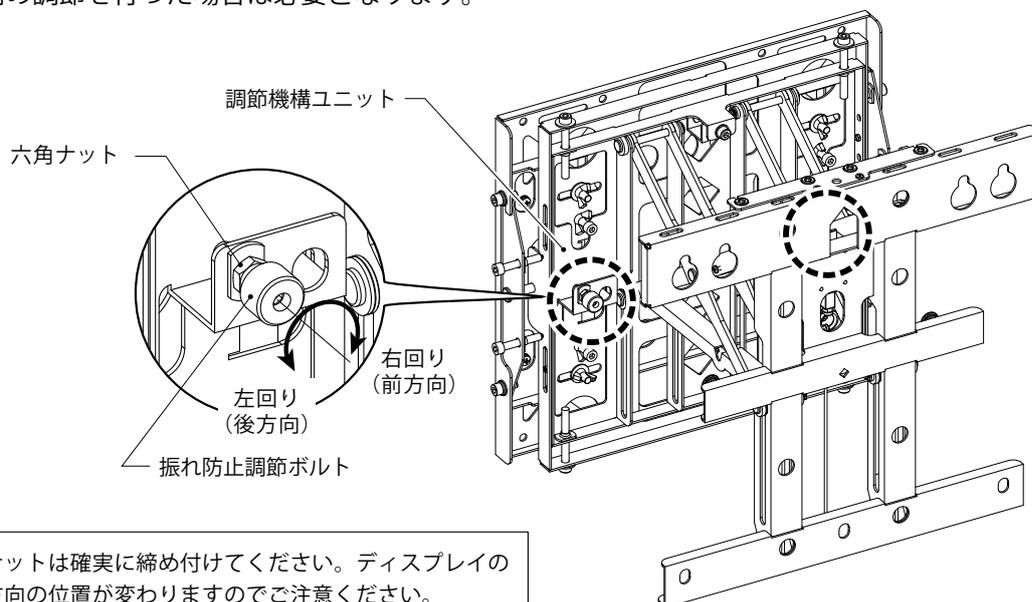
調節後は、必ず「六角ナット」を締め付け直してください。

※前後方向の調節を行った場合は必要となります。

使用する工具

六角レンチ (対辺 6mm)

スパナ (対辺 13mm)



ナットは確実に締め付けてください。ディスプレイの方向の位置が変わりますのでご注意ください。